

上下水道システムの技術動向

上下水道は、快適な市民生活を行う上で、必要不可欠なライフラインであり、安全でおいしい水、潤いのある水環境の実現を目指して、整備が進められている。公共水域の水質汚濁が進み、水質保全と水環境の回復が重要な課題となり、また生活水準の向上、高齢化、高度情報化などの社会情勢の変化の中で、上下水道の役割は、多様化し、ますます重要となっている。また国、地方公共団体の厳しい財政事情の下、費用対効果を重視した効率的な施設整備と維持管理が求められている。

一方、情報通信ネットワーク技術、計算機技術は、急激な発展を続けている。映像、音声、データを有機的に扱えるマルチメディア技術が実用化段階に入っており、これを応用することで、人に優しい新しい監視制御システムや業務の効率化を図る広域情報管理、総合情報システムの構築が検討されている。

ここでは、このような背景の中で、上下水道の最近の動向と電気・計装分野でのシステム技術動向を展望する。

竹野 宏平 電力・産業システム事業所 公共部長

田中 久雄 電力・産業システム事業所 主幹

前田 和男 電力・産業システム事業所 参事
